

新型コロナウイルス対策と奈良の未来

今年は新型コロナウイルスの感染拡大をうけ青年会議所の活動も制限せざるを得ず、思いを形にすることが難しい年になりました。新型コロナウイルスの対応にリーダーシップを發揮する奈良市の仲川市長・生駒市の小紫市長のおふたりと、Withコロナの時代のリーダー論や街のあり方について森田理事長が対談しました。

対談1



奈良青年会議所 第61代 理事長
森田洋平
Yohei Morita

Chairman Profile

1980年生まれ、神戸大学経営学部卒業。税理士法人森田会計事務所副所長。2012年入会後要職を歴任。2019年度奈良青年会議所監事・日本青年会議所日本アカデミー委員会副委員長を経て、現在奈良青年会議所第61代理事長。



奈良市長
仲川げん氏
Gen Nakagawa

Guest Profile

1976年生まれ、立命館大学経済学部卒業。民間企業やNPOでの勤務を経て、09年7月から現職、中核市市長会顧問、奈良県市長会会長。

仲川

奈良市長の仲川げんです。今日はよろしくお願ひします。

奈良という場所におけるリーダーの役割の中には、海外の方や県外の方とのお付き合いがありますが、その中でいつも再認識するのは、奈良はただの町ではない、普通の町ではないという特殊性です。何か一つのテーマなり課題があつた時に奈良はどう動くのかとか、奈良ならどういう答えを用意しているのかを問われる部分がありま

す。繋げようという気持ちで、過去の慣習にとらわれず、チャレンジする機会を提供したいと考えています。

仲川市長は、奈良市のリーダーとしてどのようなことを意識されていますか。

森田

奈良市長の仲川げんです。今日はよろしくお願ひします。

奈良という場所におけるリーダーの役割の中には、海外の方や県外の方とのお付き合いがありますが、その中でいつも再認識するのは、奈良はただの町ではない、普通の町ではないという特殊性です。何か一つのテーマなり課題があつた時に奈良はどう動くのかとか、奈良ならどういう答

えを用意しているのかを問われる部分がありま

す。県庁所在地であり、古代からの歴史が脈々と存在する奈良のリーダーとしては歴史に学びながら未来を見通す、長い時間軸に立つて、ヨーロッパを持ち合わせていることがすごく大事だ

と思っています。新型コロナウイルス対策に全力で取り組む時です。コロナ前がどうだったのか思い出せないくらい多くの変化があり、今年だけでも約45億円の補正予算を組みました。9月まで1年の中で4回です。そんなスピードで事業を計画し、実行する。そしてダメであればまたやり直す。こんなサイクルはこれまで経験したことありません。最近ではデリバリーで事業を計画まとめたチラシを作つて配布するなど、新型コロナ対策事業を行つてきました。

奈良JJCもコロナの影響で多くの事業が中止になります。本来やりたかったことがほぼできていませんが、緊急事態宣言が発令されたゴルフデン

ウイークにはお弁当のドライブスルー販売を行いました。また、献血の呼びかけ、天候不順により中止にはなりましたが、ドライブインシアター、

最近ではデリバリーに対応している飲食店をまとめたチラシを作つて配布するなど、新型コロナ対策事業を行つてきました。

これまでの「まほろばざーる」のような人が集まるイベントを行い、奈良の良さを知つてもらつと

いう方法が今後は変わらざるを得ないと感じます。

仲川 奈良JJCは、まさに事業をされている方の集まり

仲川

奈良市長の仲川げんです。今日はよろしくお願ひします。

奈良市が入りませんというと、それだけで

本当に動くことで、組織の力を高めることができますし、力のある組織だからこそ社会に奉仕できるのだと思います。

仲川の活動は足かせがないだけに、もつと斬新で大きな動きをすべきだと思います。

森田 仲川市長の活動は、足かせがないだけにして、会社など所属は違うメンバーが集まつて

いるのですが、その中で共通の目標である「明るい豊かな社会」の実現のためにみんな頑張っています。得意分野や専門知識が違うメンバーが集まっていますので、それぞれ持つっているものを活かすために自由に動くことで、組織の力を高めることができますし、力のある組織だからこそ社会に奉仕できるのだと思います。

仲川

仲川の活動は足かせがないだけにして、会社など所属は違うメンバーが集まつて

いるのですが、その中で共通の目標である「明るい豊かな社会」の実現のためにみんな頑張っています。得意分野や専門知識が違うメンバーが集まっていますので、それぞれ持つているものを活かすために自由に動くことで、組織の力を高めることができますし、力のある組織だからこそ社会に奉仕できるのだと思います。

仲川

仲川の活動は足かせがないだけにして、会社など所属は違うメンバーが集まつて

いるのですが、その中で共通の目標である「明るい豊かな社会」の実現のためにみんな頑張っています。得意分野や専門知識が違うメンバーが集まっていますので、それぞれ持つているものを活かすために自由に動くことで、組織の力を高めることができますし、力のある